

西鉄バス北九州

営業所の
関連業務をゼロに！

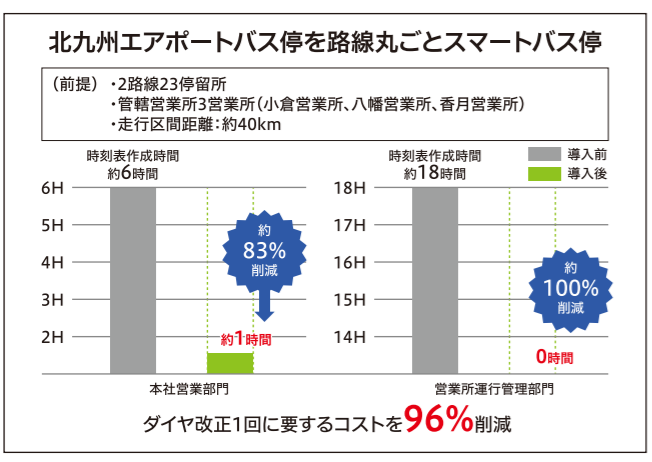
コロナ対応で10倍に増えたエアポートバスの
運行管理にスマートバス停が貢献！

福岡県北九州市において、北九州空港エアポートバスの運行を担っている西鉄バス北九州株式会社様。2021年3月、北九州市内を走る2路線のエアポートバス停すべて(23基)のスマートバス停への入れ替えを完了されました。国内初となる「路線まるごとのスマート化」について、西鉄バス北九州・永田様(八幡営業所運行管理者)、金本様(本社営業部)に、お話を伺いました。



コロナ禍の航空ダイヤ変更
多発で、現場業務がひっ迫

航空ダイヤの改正是通常夏と冬の2回ですが、コロナの影響で減便が繰り返され、多い時にはひと月に3回もダイヤ改正が発生しました。そうになると、当然エアポートバスのダイヤも見直す必要があります。そのため、時刻表の作成を行う本社営業部と、バス停の管理を行っている各営業所の関連業務の負荷が約10倍にも膨れ上がりました。



刻表パッケージ作業も、2〜3日で完了させる必要があり、担当者の負担となりました。営業所全体での度重なるシフトの見直しも負担となりました。



エアポートバスのバス停に設置されたスマートバス停

スマートバス停の全停導入により、運行管理者の関連業務がゼロに

西鉄バス北九州で導入を進めていた「スマートバス停」を北九州市内を通る2路線全停に導入しました。導入後、すでに3回の航空ダイヤの見直しがありました(取材時)、スマート化により、基本的に営業所での作業がゼロになりました。これは大きいです。

運行管理者の本来の業務は、バス乗務員の勤務時間や休憩時間を管理し、疲労や健康状態に気を配ったりして、バス運行の安全性を確保することにあります。コロナ禍では、このような安全確保に向けた運行管理者業務の重要性が増しています。頻発していたエアポートバスのダイヤ改正に伴う作業がなくなることで、運行管理者としての本来業務に集中できることは、大きな意味があります。

福岡県北九州市にある北九州空港は鉄道が直結しておらず、最寄のJR杵網駅からバスで16分、新幹線小倉駅からは49分の位置にあるため、エアポートバスが重要な交通手段となっています。このエアポートバスの運行を西鉄バス北九州様が担当されています。北九州空港は重要な業務・観光のインフラであるため、非常に重要な役割であり、官民一体となって、公共交通を守り、地域の発展を支えています。

ダイヤ改正時の時刻表入れ替え作業は「一大イベント」

ダイヤ改正には①本社営業部による事前告知と時刻表の作成、②営業所による事前告知の張り出しとダイヤ改正前日の時刻表入れ替え作業の、大きく2つの作業があります。①はすべてバス停分準備する必要があります。間違えの許されない、気を遣う作業です。②について、事前告知はダイヤ改正の7日前までに行うことが運輸規則で定められています。また、時刻表は各バス停のサイズに合わせてカットし、水などが入ら

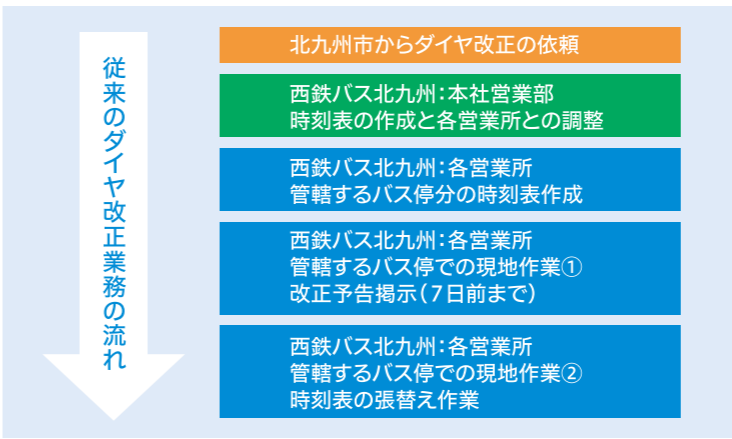
本社営業部での時刻表作成業務も、今まで時刻表はマイクロソフトエクセルで各バス停分作成していましたが、このシステムを使うことで、既存のCSVのデータから、運休となる便を削除するだけで、事前告知も作成したデータを登録するだけで、各営業所との調整も不要となり、作業がかなりシンプルになりました。

思わぬ効果でさらなる作業軽減の可能性を実感

全く想定していなかったのですが、電話のお問い合わせが減りました。バス営業所には、どのバスにのればいい? 料金はいくら? といったお問い合わせが日々寄せられており、運行管理者がその

ないようにパッケージングする作業を各営業所で行う必要があります。ダイヤ改正当日は総出で対応を行う必要があるため営業所にとっては「一大イベント」で、ひと昔前までは炊き出しを行い、作業を行っていた営業所もありました。

また、エアポートバスは複数の営業所をまたいで運行しています。事前告知は全バス停に一斉に張り出す必要があるため、本社営業部担当者は、ダイヤ改正7日前までに、全営業所で対応可能な作業日を調整する必要があります。各営業所においても、通常業務以外の対応となりますので、運行管理者のシフト見直しなどが発生し、調整は簡単ではありません。



対応を行っています。西鉄バス北九州ではエアポートバス路線以外にも、通常の路線バスにもスマートバス停の導入を行っています。中にはその時間帯のバスの時刻を大きな文字で表示する機能を有するものもあるので、その複合的な効果ではありますが、そのようなお問い合わせが減ってきています。運行管理者業務の更なる軽減につながることが分かりました。

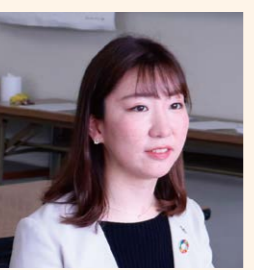
スマートバス停導入拡大に向け、国や自治体の補助に期待

西鉄バス北九州では約20000停のバス停の管理を行っています。すべてをスマート化できると、かなりの効率化が図れることが今回確認できました。今後は国や自治体の助成を活用しながら、北九州市として主要な路線や当社として管理負荷が高いバス停などを優先し、計画的に導入を進めて行きたいです。

お話を伺った方々



西鉄バス北九州株式会社 八幡自動車営業所 助役 永田 秀之 様



西鉄バス北九州株式会社 営業本部 営業部 金本 咲希 様



スマートバス停(案々モデル)